

重層的支援体制整備事業 ブロック別研修

地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制構築事業 ～取り組み紹介～

令和4年3月10日

群馬県玉村町:健康福祉課

～県央の未来を紡ぐ玉村町～

▶ 人口

36,099人（令和4年1月1日現在）
【ピーク時 38,168人（平成17年10月1日）】

▶ 高齢化率

26.5%（令和4年1月1日現在）
【介護保険 財政調整交付金:0%の町】

▶ トピックス♪

「たまたん(H30全国バラサミット)」、「道の駅玉村宿」、
「田園夢花火」、「玉村八幡宮」、「全国食肉学校」、「群馬県立女子大学」
「高崎玉村スマートIC」、「虹色のマチTAMAMURA(分譲地・販売中)」



玉村町マスコットキャラクター
たまたん

「たまむらささえあい計画」 (担当：健康福祉課)

- 3つの計画（地域福祉計画・自殺対策計画・成年後見制度利用促進計画）を一体で策定。**

【平成30年度に策定・すべて第一期計画】 ※玉村町HPから、参照ください。

○**地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制構築事業（国庫補助金）**

- ◇平成30年度（地域力強化推進事業）
町民ワークショップ、ニーズ調査……等々
- ◇令和元～3年度（多機関の協働による包括的支援体制構築事業）
CSWの配置（社会福祉士 R2.3.1から）、なんでも相談窓口、
司法書士会との連携協定、水道検針員（会社）との見守り協定、
フットバンクたまむら開設、DET研修……等々
- ◇令和4年度より、重層的支援体制整備事業へ移行
群馬県では4市町村が事業実施します

関連記事 (抜粋)

福祉相談 地域ぐるみで

玉村町、体制整備へ連絡会議



地域ぐるみで福祉の相談を受けられる体制を整えようと、玉村町は6日、同町

役場で町総合相談窓口連絡会議を開いた。3月には新たに専門職員を採用、地域

相談窓口の現状や相談者の様子を共有する参加者

に出て、困り事相談の需要を掘り起こす「アウトリーチ」も始める予定。

初回となる連絡会議には社会福祉法人や町地域包括支援センターの職員10人が参加した。町内の3社会福祉法人が設置する「なんでも福祉相談窓口」の現状を紹介。定期的に情報を共有していくことを確認した。

町は今後、支援の輪にNPO法人や民間企業も加わってもらい、登録制「サテライト型相談窓口(仮称)」の開設を目指す。高齢者や障害者が役場などに出向かなくても専門機関につなげられる環境をつくる。

また、困り事に対応するコミュニティソーシャルワーカー(CSW)として社会福祉士1人を採用。各戸訪問し、介護や就労、引きこもり問題などを抱える住民を探して相談を受け付けていく。

町健康福祉課は「制度のはざままで苦しむ人やネットワークから漏れてしまう人に手を差し伸べたい」としている。

福祉専門職員 CSW 配置へ

玉村町

生活困窮者の支援につなげようと、玉村町は新年度、福祉の相談を二元的に受けるコミュニティソーシャルワーカー(CSW)を庁内に配置する。4月から社会福祉士を募集し、CSWとして登用して各戸を訪問する「ローラー作戦」などを実施する。

CSWは、介護や就労、引きこもり問題など、複合

H31.4.1 上毛新聞より

的な悩みや課題に地域と協力して取り組む専門職員。対応する窓口を庁内に設けるほか、地域に出て課題を探索する「アウトリーチ活動」の一環として訪問支援を行う。同町は「制度のはざま」で苦しんでいる人を見つけ、課題解決につなげたい」としている。

関連記事 (抜粋)

困窮者に直接 聞き取り活動

社会福祉士の職員配置

玉村町

福祉の相談を二元的な会場の外に相談ブースを受けようと、玉村町を設け、子育てから介護まで多様な困窮者を持つ専門職員を「コミュニケーションソーシャルワーカー(CSW)」として庁内に配置した。庁外に出向き、生活困窮者についての情報を収集するアウトリーチを始めた。

「気軽に相談ください」。民生委員の定例会が開かれたJA佐波伊勢崎たまむら支店(同町下新田)で、CSWの阿部美那子さん(44)は出席者に声を掛けた。社会福祉法人の相談員2人と協力し、



親身になって相談を受ける阿部さん(右)

た男性(69)は、「役場に行く手間が省けた。聞くべきか迷っていたので、助かった」と話した。

当初は各戸訪問も予定していたが、新型コロナウイルス感染症予防のため延期している。町は「コロナの影響でさらに困窮者を見つけにくくなっている。行政側から手を差し伸べる方法を模索したい」としている。

※【月報司法書士 2022年1月号】に、玉村町の取り組みを掲載していただきました。ぜひご覧ください。

司法書士会と

玉村町が協定

生活困窮者支援で生活困窮による孤立をなくそうと玉村町は群馬司法書士会(前橋市)と連携協定を締結した。市町村と司法書士会の協定は全国で初めてという。

複雑な法律的手続きに限り無料で司法書士の協力を得られること

は「立派な甲冑や彩り豊かな掛け軸を見られて良かった」と語った。9日には石州流茶道の茶会、武源流居合抜刀術の演舞などもある(有料)。問い合わせは相川考古館(0270・25・0008)。

【大澤孝二

で、引きこもりのや離婚8050問題など家庭内の問題を相談しやすくなる狙い。

この協定では、登記▽供託手続き▽法務局提出書類の作成▽訴訟140万円以下の訴訟▽民事調停などの代理業務のほか、障害者の相続における成年後見制度に関する業務など専門性が高く役場で対応できない場合に

卯田さん「作家ま

天気
前橋
みなかみ
群馬
婦恋
あすの5月31日
赤口



協定書に調印した石川眞男町長(左)と群馬司法書士会の西川正会長—玉村町役場で

【大澤孝二】

告別式 死日(氏名) 82歳 内中 婦恋村 07/11/68 71歳 当 告別式 死日(氏名)

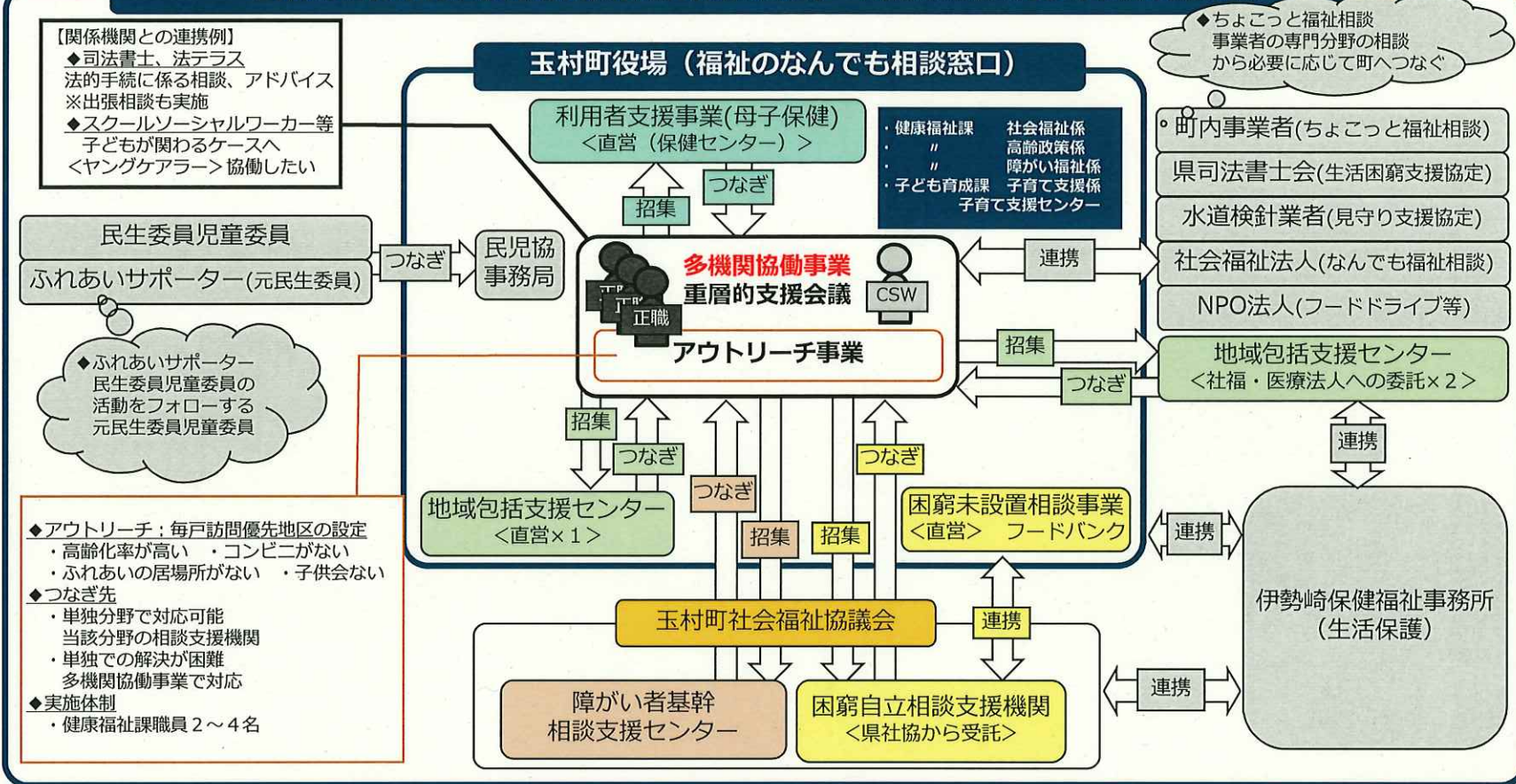
【玉村町】重層的支援体制整備事業の実施イメージ (R4~)

【I 相談支援】

- ・玉村町役場健康福祉課において多機関協働事業を実施する。
- ・4分野（高齢、障害、子ども、困窮）の相談支援機関は、単独で解決が難しい事例を把握した場合、多機関協働事業につなぐ。
- ・4分野の相談支援機関以外にも、民生委員や社会福祉法人、NPO法人、事業者等の協力を得て、困難事例の発掘を行う。（地域づくりに向けた事業者からも得る）
- ・多機関協働事業につながった困難事例への対応を検討するため、連携が必要な機関を招集し、重層的支援会議を開催する。（下記以外にも必要に応じて）
- ・アウトリーチ事業では、関係機関と協力しながら地域を訪問する（ローラー作戦）ほか、継続的な訪問や見守りにより、関係を築く。

玉村町における包括的な支援体制（相談支援）

※住民に身近な圏域として5つの小学校区を設定



【玉村町】重層的支援体制整備事業の実施イメージ (R4~)

【Ⅱ 参加支援・Ⅲ 地域づくりに向けた支援】

- ・多機関協働事業につながった単独で解決することが難しい事例について、参加支援事業により、多様な社会参加につなぐ。
- ・既存の地域づくりに向けた支援に係る事業では、基本は当該専門分野における支援を提供するが、支援対象者（世帯）の状況に応じて柔軟な利用も可能とする。また、共助の基盤づくり事業を中心に、多様な社会参加の場づくりや多様な主体の結びつきを促す。
- ・健康福祉課高齢政策係にチームオレンジコーディネーター（TOC）を配置、同課社会福祉係にCSW（多機関協働も担当）を配置し、両者を中心に取り組む。

玉村町における包括的な支援体制（参加支援・地域づくりに向けた支援） ※住民に身近な圏域として5つの小学校区を設定

